

お知らせ

法人実績報告

期間：令和3年4月～令和4年3月

(単位:名)

	新規障がい者数				年間実績	総数
	知的	身体	精神	その他		
センター登録者数	9	1	16	6	32	775
就職者数	21	3	17	0	41	466
実習者数 (のべ件数)	12	2	17	1	32	
離職者数	15	3	9	0	27	

(東松山第1事業課 手塚)

発行責任

〒355-0028
 埼玉県東松山箭弓町1-11-17
 ハイムグランデ東松山2階
 特定非営利活動法人
 東松山障害者就労支援センター
 代表理事 若尾勝己

<http://www.zac-saitama.org>

☎ 0493-24-5658

✉ r-ship-c.honbu@blue.ocn.ne.jp



vol.58

発行日：2022年5月20日

NPO法人 東松山障害者就労支援センター

ZACNews

発行：特定非営利活動法人東松山障害者就労支援センター
電話/FAX (法人本部)：0493-24-5658

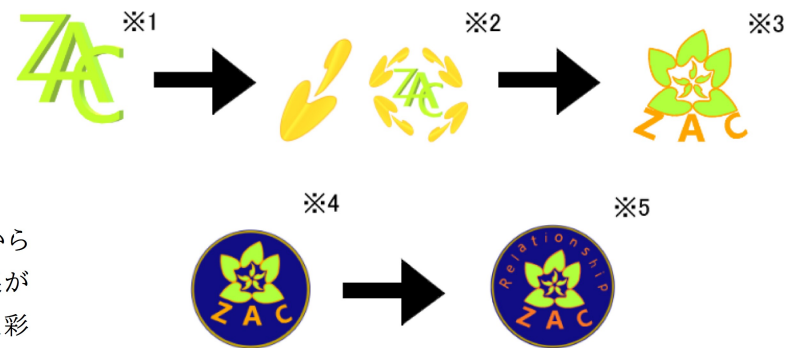
ザックニュース 2022年 春号

法人代表より挨拶

「新年度のスタートです！！」

編集後記

4月から12か月以上かけ、無事社章が完成しました！



※6

こちら※6は、今年度から新設された経営企画課がゼロから絵柄・形状・色彩について細かく話し合いを重ね作った、大切な社章です。

社章の中には、つながりや関係性を広げるという意味の「Relationship」・花のシンボルマーク・ZACの由来である「ザックザック掘り開拓していく」という意味から着想したシャベルを用い、法人のイメージカラーである黄緑色を使用して製作いたしました。社章のデザインは作ったことがなかったのですが、基本的にはかっこよくてシンプルなデザインを目指し制作を始めました。出来る限り案を出してほしいということだったので、初めはZACの字を使った印象の持ちやすい案はないか、法人のイメージカラーである黄緑色をどのように生かしていけばよいかを悩みつつ、複数の案を試行錯誤して作成していきま

した。※1
しかし、アイデア出しは全行程を含めても最も難しく、案が5つを超えるとだんだんと思いつかなくなり、ついには行き詰ってしまいました。

そんなときです。7月の会議で、ZACの由来が「ザックザックと掘り開拓していく」ということを教えて貰いました。この由来から作られたシャベル、更に花のようなイメージにする・ピンバッジにするという提案を元に、花のシンボルマークを使ったロゴを作りました。※2 ※3花の黄緑色が目立つように配色することに大変苦労しましたが、更に背景を加える改良をして出来上がったロゴは、今まで作ってきた中で一番社章らしいロゴでした。※4

9月の会議ではそれまで作ってきた候補を9つに絞り、全職員にロゴを決める投票を取りました。すると色合いの良さ、目を引く分かりやすさで花シンボルのロゴが最も多く得票し、見事社章に選ばれました。※5

初制作の不安の中、無事ロゴが決まりホッとしました。色やバランスの調整は難しく大変なものでしたが、制作に関わり、良い物を作ることができてよかったです。

この社章がZACだとわかっていただけるように認知が広がってくれば嬉しく思います。(企画経営課 根本、鈴木R)

慌ただしい年度末を経て、令和4年度の事業がスタートしました。皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか？慌ただしくスタートされた方、粛々とスタートされた方、様々であると思いますが、コロナ禍の新年度スタートは、これで2度目となりました。早く終息することを願うばかりですが、まだまだ気遣い止まない状況ですね。

さて、この年度の切り替わる時期、世界に目を向けて見ると、2月24日にロシアが軍事力行使して、隣国のウクライナに侵攻するという、とても大きな出来事がニュースから流れてきました。1つの主権国家が不当な軍事力で領土を奪われていくという、あってはならないことが現実となりました。多くの一般市民が犠牲になり、そしてこれまでの生活を全て奪われるという、とても悲惨・凄惨な出来事です。そして、それは今現在も続いており、この理不尽なそして残虐な行為を1日でも早く終わらせてほしいと、切に願うばかりです。また、心に思うところはもう1つ。この様な戦禍の中で、障がいのある人たちの暮らしは一体どうなったのでしょうか、そして戦禍の中で傷つき、新たに障がいを持つことになる人々も少なくないのでは、そんなことが過ります。普通の生活に戻れることは勿論ですが、この様な方々への一刻も早い支援の手が差し伸べられることも、諸外国含め日本としても積極的に行って欲しいと、強く思うところです。

話題は変わりますが、こんな激動の世界情勢の最中の令和4年度のスタートとなりますが、自法人に目を向けて見ると、本年度11月26日が法人設立から20年という節目の年度となります。私自身は、法人がスタートした翌年度の平成16年4

月に転職し、この法人の職員となりました。当時は、正職員が僅か4名、非常勤職員が2名、高齢者採用の職員が6～7名という、とても小さな規模の法人ではありましたが、「就労支援」を先駆的に展開する法人で、自身がそれまで勤めていた組織とは異なり、とても活力のある組織であったことを印象として記憶しています。そして、平成19年度に入り、法人運営を前任者より引き継ぎ、私自身が経営を考える立場となりました。以降、この法人経営では、常に「就労支援」のフロントランナーであり続けること、また常に社会の流れや社会のニーズに敏感であることを心に留め置き、必要とされる組織であり続けるためにはどう事業を展開すれば良いのかを考えて参りました。一言で表すのであれば、「我武者羅(がむしゃら)」に、というのが一番相応しいかもしれません。しかし、ここ数年、私自身が描いていた「就労支援」のあり方が、どうも多様化されてしまった「就労支援」のあり方そのものに呑み込まれ始めているのではないかという疑念に向き合うことが多くなりました。障害者雇用ビジネスの問題、営利組織による収益オンリーの障害福祉サービス事業所の経営、また、働く力があるにも関わらず、支援する者がその可能性を否定し、働かなくても良い構造を作り出してしまっている現実を目にするたびに、いまの「就労支援」の業界は、言葉を選ばないのであれば「何でもあり」の様相に映るときがあります。

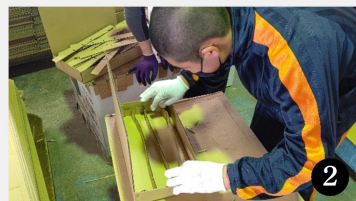
あらためて、この20年の節目の年度にあたり、この法人が行う「就労支援」の質にフォーカスし、本来の「就労支援」とはどうあるべきか、法人の理念として掲げている「誰1人取り残さない社会の創造」のために、事業活動のあり方を考えて進めていきたいと思えます。職員の皆さんにも、ぜひこのことを胸に、一緒にまい進いただくことをお願いし、年度のスタートの言葉に代えさせていただきます。本年度も、どうぞ宜しくお願い致します。

(代表理事・若尾)



事業所別ニュース

法人本部・本部アセスメント室



写真

- ①むしり
- ②加工(組み立て)
- ③会社説明
- ④会社見学

東松山自立支援協議会で学校が行う進路指導の支援補助を目的とした進路支援連絡会。

その連絡会で、毎年実施しております中高生の職業体験。これは学校の産業職場実習だけでは実習の数も限られており、働くイメージがつかず、行える実習先や職種も限られてしまう。という中で、少しでも進路を選ぶ材料を増やしてもらえたらという目的で実施させていただいております。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和2年、令和3年と中止になってしまったことから、当センターで何かできないかということで、令和4年3月30日(水)に職業体験を実施させていただきました。

対象は当センターに相談に来られていた高校生。ご協力いただきましたのは、東松山にある、東松山紙器工業株式会社様。

今回の目的をお伝えすると快く受け入れていただき、ご担当の方と事前の打合せでは「どうしたら対象者に働くということや、この会社のことが伝わるのか」と、熱心に考えていただきました。その甲斐もあって、ご本人、ご家族もにとっても楽しかった。仕事のイメージがついた。これからはこういった機会があれば参加したい。という感想をいただき、無事に終わることができました。

今後についても体験させていただける企業様を増やし、体験できる機会を提供できたいと思います。

参加してみたいという方。ご相談させていただきますので、ぜひご連絡ください。

(東松山第1事業課 木村T)

し合う場としています。

今回は令和3年度の第2回目として開催し、日ごろから



障害者雇用で当法人と関係のある企業4社の計6名の方々にご参加いただきました。

今回の話題として、障害者雇用が進まない理由について、就労支援機関の役割について、適正な仕事選びについてなど、日ごろから障害者を雇用している担当者ならではの疑問や意見が出ておりました。

今年度はこの情報交換会を年間で4回実施する計画です。現在は当法人とゆかりの深い企業との会になっておりますが、少しずつ参加企業を増やしていき、これから障害者雇用を進めていきたい企業や行政の方も参加できるように会にしていきたいと思っております。

(東松山第1事業課 友田)

インタビュー 東松山事業所

本号よりインタビューコーナーを新設しました。各事業所へまわり、事業内容を紹介していこうと思います。(経営企画課 根本)



図1

図1: 就労移行支援事業



図2

図2: 自立訓練(生活訓練)

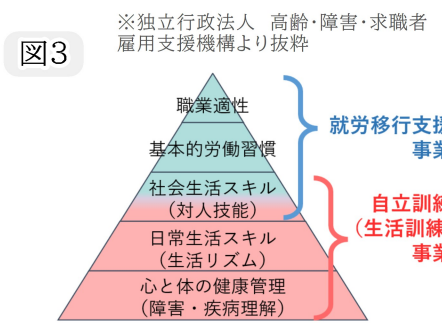


図3

図3: 職業準備性ピラミッド

※独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構より抜粋

事業所別 スタッフリレートークコーナー

■入社年月 平成 15 年 4 月
 ■血液型/星座 O型/しし座
 ■趣味
 スポーツ観戦(コロナが落ち着けば地元埼玉で行われるいろんな競技を観に行きたいです)
 ■休日の過ごし方 掃除など家にいることが多いです
 ■自己紹介
 日々職員や利用者の皆さんから学ぶことが多いです。皆さんへの感謝の気持ちや仕事ができる有難さを忘れずにこれからも頑張ります!

法人本部・本部アセスメント室



東松山事業所 たいのりふみ



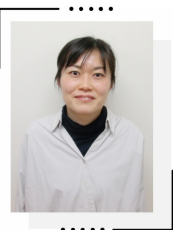
■入社年月 令和 2 年 4 月
 ■血液型/星座 O型/しし座
 ■趣味 読書
 ■休日の過ごし方 テレビ鑑賞
 ■自己紹介 通勤するには健康でないと通勤できません。健康管理に気をつけて頑張ります。

■入社年月 令和 2 年 1 月
 ■血液型/星座 O型/さそり座
 ■趣味 ハンドメイド、雑貨屋めぐり、散歩
 ■休日の過ごし方 最近ではもっぱらインドア派。録画したドラマを見まくっています。理想はやっぱりアウトドア。若かりし頃のようにサイクリング、キャンプ、焚火を楽しみたいものです。
 ■自己紹介 アセスメントです。まだまだ力不足、勉強不足を感じますが、いつまでも頑張りたいと思っています。

北浦和事業所 しんざわゆかり



久喜事業所 うちのえりこ



■入社年月 平成 25 年 4 月
 ■血液型/星座 A型/てんびん座
 ■趣味 探偵中です。
 ■休日の過ごし方甥っ子と遊ぶ、買い物、ランチに行く、録画したドラマを観る
 ■自己紹介 入社して10年を迎え、感慨深い気持ちになります。経験値を増やせるように頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひ致します。

Q. 多機能型事業所就労支援センターZACは何をしているところ？

A. 当センターは、1.就労移行支援事業、2.自立訓練事業(生活訓練)、3.就労定着支援事業の3つの事業を行っています。

Q. 3つの事業はどんな事業？

A. 1.就労移行支援事業(定員20名)は、利用期限2年間で一般就労を目指す事業です。職業準備性ピラミッド(図3)の上部を重点的に行います。自分の得手不得手を整理するほか、ディスカッションを通し、コミュニケーションをはじめとする社会で必要なスキルを磨いていきます。職場見学や職場実習といった実践の場も提供しております。

2.自立訓練(生活訓練)は、昨年8月に定員10名で開所しました。職業準備性ピラミッドの下部部分を重点的に行います。健康管理、身だしなみ・生活リズムを整えるなどの、働くための基礎を習得できる場を提供しています。

様々な理由で社会に出る機会がなかった、就職はしたいが就労移行支援事業の2年間では不安など、自宅や学校から社会に出る助走期間として捉えていただけると良いと思います。利用期限は2年間ですが、就労移行支援事業と併せて(最長4年間)、緩やかにステップを踏んで社会に出る準備ができると考えています。

Q. 就職後のサポートは？

A. 3.就労定着支援事業があります。就労移行支援事業、就労継続支援事業を利用して一般就労した方が対象のサービスで、就職後6ヶ月が経過した後、最長3年間ご利用いただけます。業務時間や内容、就労に伴う生活上の課題を、面談や職場訪問、就労支援機関・医療機関との協力を通じて一緒に解決していきます。また、当法人は障害者就業・生活支援センターや東松山市障害者就労支援センター、訪問型職場適応援助者(ジョブコーチ)を受託していますので、他部署と連携しながらお仕事が続けられるようサポートしています。

まずは見学にお越しください！体験利用も受付中です！お気軽にご連絡ください！ ☎ 0493-24-1915 (東松山第2事業課 木村M)